

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 6月 30日	
大分県知事 殿	
提出者 住 所 福岡市中央区大名1-8-10 氏 名 株式会社安藤・間 九州支店 執行役員支店長 黒田 二郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-724-1131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 安藤・間 九州支店
事業場の所在地	福岡市中央区大名1-8-10
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	39,500 百万円
③従業員数	243 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物の発生抑制に資する施工方法の採用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の発生抑制に資する施工方法の採用 ・発生抑制となる工法、技術の発注者への提案		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・解体工事における分別解体・分別排出の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・解体工事における分別解体、分別排出の徹底 ・目標値を設定し、混合廃棄物を削減する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再資源化率の高い中間処理業者への委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再資源化率の高い中間処理業者への委託		
※事務処理欄			

別添内訳書

大分県

数字(t)

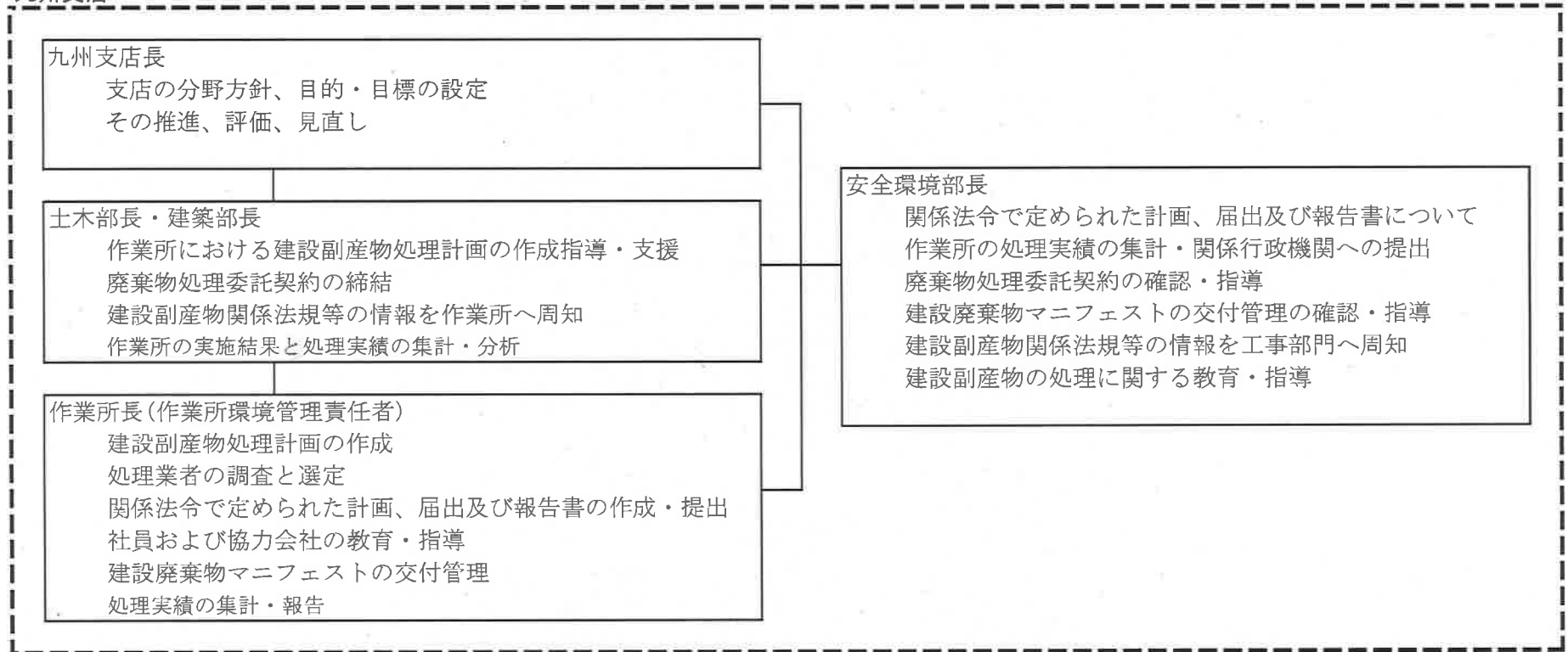
[illegible]

④産業廃棄物の一連の処理の工程



管理体制図

九州支店



産業廃棄物処理計画実施状況報告書（集計用シート）

提出者の名称	執行役員支店長 黒田 二郎	提出者の住所	福岡市中央区大名 1-8-10
事業場の名称	株式会社 安藤・間 九州支店	事業場の所在地	福岡市中央区大名 1-8-10
内容年度	平成 2022 年度		

（単位：トン）

廃棄物の種類	排出量	自社内での処理状況								委託先での処理状況				
		自己中間処理をしない		自己中間処理をする						委託 処理量	委託処理量のうち委託先毎の量			
		自己再生 利用量	自己最終 処分量	自己中間 処理量	うち熱 回収量	自己中間 処理後 残さ量	自己再生 利用量	自己最終 処分量	自己中間 処理 減量化量		優良認定 処理業者 への処理 委託量	再生利用 業者への 処理 委託量	熱回収 認定業者 への処理 委託量	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量
A	B	C	D	E	F	G	H	I (E-F)	J	K	L	M	N	
施行規則様式との対応関係→	①	②	③	④	⑤	⑥	⑧	⑨	⑦	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
燃え殻	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
汚泥	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃酸	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃アルカリ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック	76.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	76.16	59.26	0.00	0.00	0.00
紙くず	1.93	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.93	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	618.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	618.86	155.98	5.79	0.00	0.00
繊維くず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
動植物性残さ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ゴムくず	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	4,194.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,194.80	4,169.37	4,133.21	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	385.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	385.05	368.45	58.45	0.00	0.00
鋳さい	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類	22,441.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22,441.70	565.25	0.00	0.00	0.00
ばいじん	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
混合廃棄物	289.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	289.21	270.45	0.00	0.00	0.00
石綿含有廃棄物	140.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	140.40	0.00	0.00	0.00	0.00
廃蛍光灯	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	194.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	194.10	38.34	0.00	0.00	0.00
合 計	28,345.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	28,345.21	5,630.10	4,197.45	0.00	0.00